

大規模職域健診データに基づく貧血有病率の算出と貧血基準値・貧血関連リスクの調査

貧血とは、「末梢血中のヘモグロビン濃度が基準値以下に低下した状態」のことを指す。貧血は易疲労感や倦怠感、集中力の低下、めまい、耳鳴り、頭痛などの諸症状を引き起こす。診断の基準値としては WHO が 1968 年に発表した、成人男性 13g/dL 未満・成人女性 12g/dL 未満が一般に用いられている¹が、半世紀前の基準であることや実際の調査に基づかないという問題点から基準値の提案を行う研究は多い。

日本における全国的な貧血有病率の調査としては厚生労働省が実施する国民健康・栄養調査が存在するが、対象者が 2420 人と少なく、より大規模なデータでの現状の把握が求められる²。また自宅で日常生活を送る高齢者の貧血の分布に関して検討することは、自覚症状のない軽度の貧血であっても死亡率³や身体能力の低下⁴と関連があることと合わせて、高齢者が地域で自分らしい暮らしを続けるための地域包括ケアシステムを構築していく上でも重要と考えられる。

そこで、課題研究では大規模職域健診データを用いて日本における貧血有病率を算出し、貧血基準値の男女別・年齢別の変化や貧血と関連するリスク因子について解析を行う。抄読会では、解析対象者の背景情報を紹介し、先行研究と比較しながら男女年齢別貧血有病率、貧血基準値の分布と貧血診断の基準値として多く用いられる平均値-2SD、下側 2.5%点、5%点について発表する。

【参考文献】

1. WHO Scientific Group on Nutritional Anaemias & World Health Organization. (1968). Nutritional anaemias : report of a WHO scientific group [meeting held in Geneva from 13 to 17 March 1967]. World Health Organization. <https://apps.who.int/iris/handle/10665/40707>
2. 令和元年国民健康・栄養調査報告. (2020). 厚生労働省. https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/eiyuu/r1-houkoku_00002.html
3. Wu WC, Schiffner TL, Henderson WG, Eaton CB, Poses RM, Uttley G, Sharma SC, Vezeridis M, Khuri SF, Friedmann PD. Preoperative hematocrit levels and postoperative outcomes in older patients undergoing noncardiac surgery. JAMA. 2007 Jun 13;297(22):2481-8. doi: 10.1001/jama.297.22.2481. PMID: 17565082.
4. Penninx BW, Guralnik JM, Onder G, Ferrucci L, Wallace RB, Pahor M. Anemia and decline in physical performance among older persons. Am J Med. 2003 Aug 1;115(2):104-10. doi: 10.1016/s0002-9343(03)00263-8. PMID: 12893395.